

全体構成の変更・修正内容

1 「基本的考え方」⇒ガイドラインに名称変更

前回委員会で提示した「基本的考え方」の構成を見直し、ガイドラインに名称を変更

2 構成の見直し

○ガイドラインの基本的な考え方を、冒頭に追加

本ガイドライン（案）の基本的考え方

- (1) 土木事業における地質・地盤の重要性
- (2) 地質・地盤の不確実性の取り扱い
- (3) 地質・地盤リスクマネジメントの必要性
- (4) 地質・地盤リスクマネジメントの導入における留意点

○概念と手順の記述を見直し、章構成を変更

・4章の記述修正

地質・地盤リスクマネジメントの概念、枠組み、プロセスに分けて説明

・旧5章～7章を「5. 地質・地盤リスクマネジメントの実施方法」に統合

リスクマネジメントの実施手順に沿った構成とし、旧6章を「5.4 体制の構築」の解説に組み込んだ

○今後の課題や取り組むべき点を、最後に追加

「地質・地盤リスクマネジメント体系と技術の向上への取り組み」として、関係者および産官学の専門家等が連携して、中長期的視点で取り組むべき課題を記述

新旧の目次比較

第3回委員会版（今回）

第2回委員会版

まえがき	まえがき
本ガイドライン（案）の基本的考え方	
1. 本ガイドライン（案）の目的	1. 目的
2. 適用対象	2. 適用
3. 用語の定義	3. 用語の定義
4. 地質・地盤リスクマネジメントの概要 4.1 地質・地盤リスクマネジメントの概念 4.2 地質・地盤リスクマネジメントの枠組み 4.3 地質・地盤リスクマネジメントのプロセス	4. リスクマネジメントの流れ（枠組み） 4.1 リスクマネジメントの概念 4.2 リスクマネジメントの流れ 4.3 リスクマネジメントの実施時期
5. 地質・地盤リスクマネジメントの実施方法 5.1 概要 5.2 コミュニケーション及び協議 5.3 目的と対象の設定 5.4 体制の構築 5.4.1 全体体制の構築 5.4.2 関係者の内部体制の構築 5.5 地質・地盤リスクマネジメント計画の立案 5.6 リスクアセスメント 5.6.1 地質・地盤条件等の調査 5.6.2 リスク特定 5.6.3 リスク分析 5.6.4 リスク評価 5.7 リスク対応 5.8 モニタリング及びレビュー 5.9 地質・地盤リスクマネジメントの継続的な改善 5.10 記録作成及び報告	5. リスクマネジメントの実施方法 5.1 リスクマネジメントの計画 5.2 リスクアセスメント 5.2.1 リスク調査 (1) リスク特定 (2) リスク分析 5.2.2 リスク評価 5.3 リスク対応 5.4 「コミュニケーション及び協議」と「モニタリング及びレビュー」 5.5 記録作成及び報告 6. 地質・地盤リスクマネジメントの体制 6.1 概要 6.2 事業者の体制と主な役割 6.3 地質・地盤リスク管理者の役割 6.4 地質・地盤リスクアドバイザーの役割 6.5 地質技術者の役割 6.6 設計技術者の役割 6.7 施工技術者の役割 6.8 施設点検者の役割 7. リスクマネジメント体系の継続的な改善
地質・地盤リスクマネジメント体系と技術の向上への取り組み	